

## 重要取組シート

選挙管理委員会事務局

取組項目		公正かつ適正な選挙事務の推進
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に任期満了となる選挙はないが、衆議院議員の任期があと1年余りとなっており、突然の解散・総選挙に対応できる準備体制を構築しておく必要がある。</li> <li>・選挙執行時における新型コロナウイルス感染症への対応策の検討が必要である。</li> <li>・法令や制度の改正に関する正確な情報把握と的確な対応が必要である。</li> <li>・選挙人名簿システムの更新、及びそれに伴う国民投票のシステム更新が必要である。</li> <li>・次期統一選（R5年）、衆院選+国民投票などの4票以上の選挙に対応できない狭隘な投票所がいくつかある。</li> <li>・法令の解釈やシステムの運用など経験と専門的知識を要する業務の後継者づくりが急務である。</li> <li>・ICTの技術の進展により、それを活用した投票事務の効率化が求められている。</li> </ul>
取組みの内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の選挙事務で発生したトラブル防止策及び新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ新たな事務手順を作成する。</li> <li>・選挙人名簿システム、国民投票システムの更新を行う。</li> <li>・狭隘な投票所の変更のために地元調整を進める。</li> <li>・専門研修や実務経験を通して得た知識・ノウハウのマニュアル化などにより、職員の事務能力の向上を図る。</li> <li>・指定都市連合会や近隣指定都市との連携を密にし、選挙に係る情報の的確な把握と対応を行う。</li> <li>・市区選管職員で「事務研究会」を設置し、選挙課題を研究する。</li> <li>・当日投票システムの導入に対する体制や費用対効果等の検討を行う。</li> </ul>
スケジュール	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 選挙人名簿システム、国民投票システムの更新（通年） <input type="checkbox"/> 「事務研究会」の設置（6月、以降通年） <input type="checkbox"/>
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> 事務手順の見直し、手引書の改定（8月） <input type="checkbox"/> 衆議院解散総選挙を想定した事務の準備（10月） ※コロナ感染症対策を含む新たな事務手順の作成
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 投票所変更のための地元調整（2月） <input type="checkbox"/> 各種業務マニュアルの更新・作成（2月）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 参院選（R4年）に向けて、当日投票システムの導入にかかる投票所運営マニュアル作り。 <input type="checkbox"/> 国民投票システムのリハーサルの実施